

能登半島地震支援活動報告 (JDA-DAT 長野 第4班)

活動期間 令和6年3月10日(日)～3月14日(木)
活動場所 石川県総合スポーツセンター(金沢市)
派遣者 JDA-DAT 長野リーダー2名: 高木一代、酒井登実代
宿泊先 金沢駅前ホテル別館2F(金沢駅まで徒歩3分)

※ 2月中旬以降は事前に石川県栄養士会から派遣者に対し直接メールで支援内容等の連絡あり。

・石川県栄養士会の支援活動について全体説明 (Youtube による動画視聴)

・添付資料

・日付氏名活動先などが記載された行程表 ・連絡先リスト

・石川県栄養士会 LINE 及び Instagram (県内入りした DAT 限定配信) 案内

・スポーツセンター(以下スポセン)の状況 ・支援の概要 ・食事提供の流れ

【石川県総合スポーツセンター(1.5次避難所)の概要】

※要配慮者に対する栄養アセスメントと食事提供(避難所開設後1/10頃～対応)

以下3つのエリアに分かれている。

- ・メインアリーナ(メインと呼ばれている) テント220設置 ..一般避難者。一般向け炊き出しで対応
- ・サブアリーナ(サブ) 120床..老健レベル。2人部屋で仕切られ、L.M.N...Uまで10エリアに区分
- ・マルチアリーナ(マルチ) ..感染症発生時に隔離のため使用されていたが、現在は仕切りがあるのみ。

- ・栄養士会はサブにいる要支援者への3食提供とアセスメント。メインでの栄養相談を行っている。
- ・石川県栄養士会員が献立作成や発注などを行い、会員とDATが交代で食事提供をしている。
- ・以前は120食程度提供していたが、現在は80食弱提供。

【食事時間】

	配膳時間	食事箋提出 締切	食事変更 最終締切
朝	8:15	前日の16:00	7:15頃
昼	12:00	9:30	11:00頃
夕	17:45	15:30	17:15頃

【食事内容】

食事形態: ①コードJ ②コード2 ③コード3 ④普通食米飯 (4パターン対応)

献立: 粥、飯、栄養補給デザート、レトルト食品、配食弁当などを組み合わせ、コード毎に対応

活動内容

①食数管理 ②会議など	③食事提供 (毎食最低4人位で作業)	④アセスメント等 ⑤栄養相談
<p>【食事箋入力等(朝・昼・夕)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食事箋の回収 ・食事箋データ変更処理 ・食数概数出し →メニュー表に数を記入 ・食札印刷、食札切り、個別対応付箋 ・食事箋の最終回収、変更確認 ・食札の変更(手書き修正) ・食事変更・食数変更などを連絡 <p>【会議出席】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・①全体会議→②サブ多職種会議(月・水・金) 9:00～ ・医療介護連携会議(火・金) 14:00～ 議事録作成 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・弁当 受取 (随時) 2業者 ┌ まごころ弁当(ムース弁当) └ 1・2・3弁当(ムース弁当、普通) 	<p>・レトルト飯や主菜など温かい料理は電子レンジや湯煎で温め、保温箱に入れる</p> <p>・配食準備はサブの狭い部屋で行う。 (90分前～作業, 2時間以内提供)</p> <p>【普通米飯】 約46食 朝; 飯, パック入り料理、栄養補助食品(箸, スプーン, ビニール袋) 昼; 飯, 外注弁当, みそ汁, ヨーグルト, (箸, スプーン, トレイ) 夕; 飯, 弁当(箸, スプーン, ビニール袋)</p> <p>【コード3】 約26食 朝; アイソカル柔らかいごはん, 主菜など(スプーン, ビニール袋) 昼夕; 柔らかいごはん, 外注ムース弁当, (スプーン, ビニール袋) 昼のみヨーグルトをつける</p> <p>【コード2】 約4食 朝昼夕; なめらか粥, 栄養補助食品, レトルト食品(コード2)(スプーン, トレイ) 粥などはデイスポ容器に移す 昼のみヨーグルトをつける</p> <p>【コードJ】 約1食 朝昼夕; CP10, 栄養補助食品(スプーン, ビニール袋)</p>	<p>【アセスメント・モニタリング】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入所者の身長・体重・摂取量を元に栄養状態をリスク分けして栄養評価 ・中・高リスクの人に介入。聞き取りした結果は相談記録として入力し「栄養管理シート」ファイルに保管 ・リスクに応じて定期的に聞き取りや喫食量を把握するなどしてモニタリング ・入所者全員のアセスメント結果は「モニタリングシート」として Excel で管理 ・直近で体重測定があれば、データを入れ替え、リスク判定する <p>【栄養相談】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メインアリーナに相談コーナーあり ・毎日 11:40～13:00 1名待機 ・栄養補助食品などの紹介 ・食事の選び方などの相談 ・無償提供してくれているヨーグルトをメインにも持参する(土日祝なし) ・相談があれば、上記アセスメントとは別の相談用ファイルに記録保管(手書きのままでOK)

※ 加熱設備：電子レンジ3台(サブ2, マルチ1) 湯煎用炊飯器及び圧力鍋2台(事務室)

3月10日(日)：活動1日目(移動日) (天気 晴れ)

07:00 飯田市 出発(飯田IC～金沢西IC ※災害派遣等従事車両証明書 日栄から送付あり)

12:45～ 石川県総合スポーツセンター 到着

・施設内案内(石川県栄養士会事務局)

・DAT(埼玉県)から引継ぎ 食数管理・食事箋入力など(対応:高木)

・夕食提供、朝食準備、倉庫整理(対応:酒井)

～18:45 業務終了 自家用車はスポセンに駐車。ホテルとの往復はDAT指揮車を使用。

19:15頃 宿舎着。チェックイン等手続き。

3月11日(月) 活動2日目 (天気 晴れ)

06:20 宿舎 発

06:40～ スポセン 着 業務開始

- ・食事箋入力、メニュー表に食数を記入、食札準備 (随時変更に対応)
- ・全体会議・サブ多職種会議出席 (石栄1名 DAT1名) 議事録作成 (9:00～)
- ・食事提供 (朝・昼・夕)、食事準備 (翌日朝・昼)
- ・栄養相談 (11:30～13:00)
- ・栄養管理シートから対象者を選定し、石川県栄養士会員と一緒に聞き取り
→メイバランスゼリーをエブリッチに変更 (手が不自由なためパウチ状はうまく絞り出せない)

～18:40 業務終了 宿舎へ

3月12日(火) 活動3日目 (天気 雨)

06:30 宿舎 発

06:50～ スポセン 着 業務開始

- ・食事箋入力、メニュー表に食数を記入、食札準備 (随時変更に対応)
- ・医療介護連携会議出席 (石栄1名 DAT1名) 議事録作成 (14:00～)
- ・モニタリング表の入所退所に関する情報を整理
- ・食事提供 (昼)
- ・前日訪問できなかった対象者を、石川県栄養士会員と一緒に聞き取り
- ・本日体重測定してくれたので看護師からデータをもらい、モニタリング表にデータ入力。
石栄スタッフの了解を得て、計測日やメモ、旧データ保存項目の追加など Excel 加工し改変。

～18:40 業務終了 宿舎へ

※ 3月末の DAT 派遣終了後、スポセンで物品調達を担当する H 社が4月から食事提供を支援してくれる予定とのことで、本日から若い社員2名が習得のためスタッフとして入ってくれた。

3月13日(水) 活動4日目 (天気 曇り)

06:45 宿舎 発

07:10～ スポセン 着 業務開始

- ・食事箋入力、メニュー表に食数を記入、食札準備 (随時変更に対応)
- ・引継ぎ資料作成 (食数管理など DAT 業務) → PM 埼玉県 (DAT) へ引継ぎ
- ・高リスク者の喫食状況を確認→モニタリング表整理。「栄養管理の手順」を改変→引継ぎ
- ・栄養相談 (11:30～13:00)
- ・食事提供 (朝・夕)、食事準備 (翌日朝・昼)

～18:45 業務終了 宿舎へ

3月14日(木) 活動5日目(移動日) (天気 晴れ)

06:45 宿舎 発

07:05～ スポセン 着 業務開始

・引継ぎ確認

・食事提供(朝) 食事準備など

～10:30 業務終了 スポセン 発

17:00 飯田市 着 (金沢西 IC～飯田 IC ※災害派遣等従事車両証明書)

活動記録

- ・毎日、事務室入口付近に張られている出勤簿に氏名・所属・入室・退室時間を記入
- ・DiMSの活動報告を毎日スマホで入力

J-SPEED: 災害派遣医療チーム(DMAT) や災害派遣精神医療チーム(DPAT) 等が診療記録や活動報告などの情報を集約するアプリで、支援者の健康観察の項目あり。
石川県保健医療福祉調整本部から感染症対策のため、支援者に毎日の健康状態の登録を促すチラシが事務室入口付近に掲示されていた。

所感

- ・石川総合スポーツセンター(スポセン)は、二次避難先への一時的な待機場所として1月8日に開設された1.5次避難所ですが、開設後は要介護度の高い方を受け入れ一時待機ステーションとして介護施設を併設した状態で運営されている施設です。1月10日頃から食事提供を開始するにあたり、大学病院などの経験者数名で体制整備をし、石川県栄養士会員はしばらく朝から夕まで丸一日、3食提供に従事されていたそうです。JDA-DATの派遣は3月末で終了となりますが、1.5次避難所がいつ閉鎖となるか、まだまだ先が見えない活動が石川県では続きます。約2ヵ月間が過ぎて栄養アセスメントや食事提供方法は体系化されていましたが、石栄会員は被災した家の片付けや仕事の合間をぬって今も交代で活動されており、心より敬意を表するところです。
- ・配食弁当は、災害時の長期にわたる栄養供給体制として不可欠なもので、スポセンでは昼・夕食に提供されていました。長野県ではキッチンカーによる支援体制が整備されていますが、配食弁当について検討されているのか不明です。今後、災害時に対応できる配食弁当について、行政に協力して栄養士会でも検討できるとよいと思いました。
- ・今回、栄養ケアステーションとしてフリーランスで活躍されている方々や在宅訪問栄養指導の先駆者(在宅栄養管理学会理事)の方々などとお話することができ、多くのことを学ばせていただきました。災害前には既に外注弁当(コード3)の試食会をしていたとのこと。また、在宅訪問で活動している会員から栄養補助食品やレトルト食品、外注弁当などの情報が早く得られ対応できたそうです。災害時において迅速で的確な対応をするには、平常時の取組と、関係機関も含めた連携体制が、重要な要素であることを再認識しました。